安心して暮らせるまちづくりのために

栄・防災ボラネット通信

発行 ： 横浜栄・防災ボランティアネットワーク

34 号
2021. 7

2021 年度総会報告と今年度の活動について

平成 18 年（2006 年）10 月 17 日に設立総会をおこない、栄・防災ボラネットの活動が始まりました。今年度は 15 年目の活動になります。令和元年度までの総会については会員参加の元滞りなく開催し、第 2 部として当該年度の第 1 回研修会も行ってきました。ところが昨年度は、4 月に新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が出されたので、総会は書面総会とし、予定していた多くの活動も中止せざるを得ない状況でした。その後もコロナ禍の状況が続き、役員会・運営委員会で検討しましたが、今年度の総会も残念ながら書面総会とさせていただくことになりました。経過や結果については、メールで皆様にお知らせしている通りです。

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの感染防止対策を行いつつ、ワクチン接種も進めてきていましたが、人々の気の緩みや感染力が強い新たな変異株等により感染者数は下げ止まりから上昇に転じて、とうとう東京都は 4 回目の緊急事態宣言を出し、神奈川県（横浜、川崎、相模原、厚木）もまん延防止等重点措置が 8 月 22 日まで延長されることになりました。いつまでこの状態が続くのか見通せない中ですので、今年度の活動についても慎重に検討しながら進めていくことにしています。運営委員会での検討内容（議事録）や具体的な活動内容は、できるだけメールを発信しますので、ご確認いただきたいと思います。

コロナ禍にあっても自然災害は何時起きるかわかりません。大きな災害時に設置される「災害ボランティアセンター」の運営協力が栄・防災ボラネットの目的のひとつです。現在取り組んでいる、「マッチングシステム」について、どのように進めていくかも今年度の課題としています。

まだまだ暑い日々が続きます。ご自愛いただき、お元気でお過ごしください。

代　表　　宇田川 淳

三者(区・社協・ボラネット)によるマッチングシステム研修会について

昨年は、出来るだけ多くの方に内容を知ってもらおうと「マッチングシステム研修会」を開催し、システムの概略の説明と実機での操作練習を行いました。

今年は、三者間でシステムの内容について意見交換し、「栄区災害ボランティアセンター」での利用方法について具体的に検討していきたいと考えています。

研修会　予定日：8 月 30 日(月) 13:30～

第 1 回マッチングシステム研修会の様子(2020.8)

―活動紹介―

2021 年 5 月末日現在、横浜栄・防災ボランティアネットワーク（防災ボラネット）の会員は、団体会員：22 団体、個人会員 39 名となっています。
団体会員は、「地区社協」「町内会・自治会」「福祉施設」「市民活動団体」などが任意で参加しており、「地域ケアプラザ」も発足当初からの会員（今年度からオブザーバー参加）で運営委員会にも出席していただいています。今回は「桂台地域ケアプラザ」から防災についての取り組みについて原稿をいただきましたので紹介いたします。

・・・

「桂台地域ケアプラザ＆サポートセンター径 防災委員会」

～3.11 の反省から始まった取り組み～

今でも 2011 年 3 月 11 日の事を鮮明に思い出します。長い長い横揺れが収まったかと思うと、ほどなくして停電となり、ラジオでしか情報が取れなくなりました。外に出ると、近くの信号機は消えてしい、まずは、デイサービスの利用者様を安全にご自宅まで帰宅していただくことを念頭に動きました。そして、その日の夕方に行う予定だったボランティア感謝会は急遽中止、その後も情報を取りながら施設に待機し、電気が復旧した 20 時過ぎまで待機していました。電気の復旧後、早速テレビをつけてみると、手前側の道路を走っている車を今にも飲み込みそうな津波が押し寄せている映像が流れていました。数人の職員とその残酷な場面に驚きました。思わず「早く逃げて」と叫ぶ職員、けれども何もできない私たちにやりきれない気持ちのまま帰宅しました。

次の日から、さまざまな場面で当日の振り返りやできたこと、できなかったことの検証が始まりました。もちろん桂台地域でも防災についての備えは、これまで何度も話し合いがなされてきましたが、3.11 の反省から始まった取り組みも多くあります。

防災監視盤の確認作業

私たち、ケアプラザと径の合同防災員会もその反省から生まれました。「大規模災害が発生した時に、だれが現場に残っているかわからない」との意見から、第一の目標は、発災した時にいる職員は誰でも初動を相違なくできるようになることを掲げました。そのためには、職員全員が普段から防災に関する意識を持つことが必須と、館内を細かいエリアに振り分け、担当制をとることにしました。各エリアに担当職員（火元責任&環境整備）の名前を掲示し、普段から整理整頓する事、修繕が必要な箇所を素早く発見することを業務とし、年２回の報告も義務付けました。また、年１回は、防災基礎研修と称して、館内の消火栓、消火器の位置、地下駐車場の泡消火器、消火栓横からの通報機能の確認などを行うことにしました。毎年恒例、新旧職員問わず何度でも受けてもらいます。

そして、利用者さんを交えての避難訓練は年２回、その他に部署ごとの予備訓練を避難訓練の前に実施しています。すでに１０年以上続く訓練になり、マニュアルを見なくても動ける職員が増えてきたことに成果を感じています。

その他、消火器、AED の使用訓練、発電機材、防災無線、備蓄倉庫のチェックなども年間計画に基づいて実施しています。

泡消火器ポンプの確認作業

目下の課題は、「福祉避難所の実際的な準備」と「参集訓練」です。法人としては、近隣に小規模なグループホームも点在しており、建物が崩れた際の避難体制も絶えず確認しておく必要もあります。

まだまだ大きな課題も抱えていますが、ここの強みは地域の方たちとの連携が強固なこと、そして二つの防災拠点に囲まれており安心感があることです。まずは、災害への備えを怠らずに、もしもの時は落ちついて行動できるように継続した取り組みを続けていきたいと思います。

6.23 の防災委員会から

本日の委員会は、次のメニューです。

1.研修　エネポの使用方法、防災監視盤について

2.備蓄庫の整頓

お水専用の備蓄庫を設置し、これまでの倉庫を整理しました。

3.その他、館内に新しい避難経路図が貼られた事や、変更されたエリア担当の掲示が終了したことについて報告がありました。

避難経路図

横浜市から支給されているエネポは、災害が発生した時に使用する非常電源装置です。燃料はカセットボンベを装着するだけの簡単操作ですが、誰でも取り扱えるように訓練を行いました。
大規模災害には長時間の停電がついて回ります。
いざという時の本部運営やスマホの充電、投光器や簡易暖房、扇風機等の使用に使えます。

毎年増えている備蓄倉庫の整理が防災委員会の念願でしたが、新しい備蓄庫を購入することができました。特にお水をどこに格納するかに頭を悩ませていましたが、屋根のある受水槽のそばに落ち着きました。

これからは、古い物は処分し、きちんと管理ができそうです。また、空いたスペースを活用して、その他の物品の管理も容易になりそうです。　（記：桂台地域ケアプラザ 石塚）

エネポ（非常電源装置）…燃料のカセットボンベを装着する訓練

水の備蓄庫へ移動

横浜市桂台地域ケアプラザ　横浜市栄区桂台中 4-5　　TEL・FAX　045-897-1111

桂台地域ケアプラザは、本郷中央地区と上郷西地区をカバーする福祉保健活動の拠点です。
地域活動、ボランティア活動の支援、高齢期の生活や介護に関わる相談等を行っています。
介護保険事業として、居宅介護支援、通所介護事業を併設しています。
同じ建屋にサポートセンター「径」を併設し、敷地内には生活介護事業所「朋」があります。
いざという時も、各事業所に福祉避難所が開設されます。

区社協「ボランティア・市民活動団体分科会」って、なあに？！

栄・防災ボラネットは、2020 年度から栄区社協の正会員として登録し、「ボランティア・市民活動団体分科会」に所属しております。分科会の活動などをご紹介します。

①ボランティア・市民活動団体分科会の活動について

栄区社協を拠点にしている活動団体は大きく 4 つの部会（「地域福祉関係団体部会」・「当事者団体部会」・「専門機関部会」・「学識経験者部会」）に分けられます。
さらにその部会には合計 11 の分科会があります。

栄・防災ボラネットは、「**地域福祉関係団体部会**」の中の分科会の一つ**「ボランティア・市民活動団体分科会」**に所属しています。

この分科会は、地域で支え合い活動や防災・環境の活動などを自発的に行っている市民・団体によって構成され、現在、右記のように 21 団体が所属しています。2021 年度の役員は、会長：「e プラザ」、副会長：「COSMOS」及び「まつぼっくりの会」が選出されています。

分科会の活動は、団体間の情報交換や交流、研修・視察を行っています。また「栄区民まつり・ぼらんてぃあ村」を区社協と協力して行い、活動の紹介や啓発、地域との交流を行っています。

	ボランティア・市民活動団体分科会　名簿
1	音声訳ボランティアの会　COSMOS
2	手話サークル「希」
3	NPO 法人　積み木
4	子育て支援ボランティア　まつぼっくりの会
5	たまり場こすがや
6	ボランティアいでたち»
7	ぱそこんぼらんてぃあ e-プラザ
8	NPO 法人さかえまごころの会
9	NPO 法人　ワーカーズコレクティブたすけあい栄
10	あさの会
11	栄おもちゃ病院
12	花みずきの会
13	パソボラ横浜
14	サロン　どんぐり
15	ミニデイサービス「けやき」
16	ブループラネット
17	いの山プラチナ会　生活応援チーム
18	さかえ・グリーン協力隊
19	横浜栄・防災ボランティアネットワーク
20	福祉クラブ生協 移動サービスワーカーズコレクティブ ララ・むーぶ・栄

②「ようこそであい広場」、「区民まつり・ぼらんてぃあ村」について

2020 年は両イベントともコロナ感染拡大の影響を受け、残念ながら中止になりました。
分科会とは別の枠組みですが、2021 年 3 月の「第 22 回 ようこそであい広場」は、例年のお祭り形式を中止し、「スライドショーによる団体紹介」を実行委員会で作成し、栄・防災ボラネット他各団体の活動紹介をしています。ぜひご覧ください！

https://youtu.be/l975vnoOnGU　　栄区社協の HP からもご覧いただけます。

2021 年の「栄区民まつり」は、11 月 6 日(土)、本郷中学校校庭で、コロナ感染防止対策を徹底して開催される予定です。国・県のイベントに関するガイドラインを遵守し、会場レイアウトも大幅に変更され、出店数の制限、会場内での食事禁止、一方通行規制などの取組みがなされます。「ぼらんてぃあ村」のテント数も例年の 5 張から 2 張に縮小されます。分科会では、このような状況を踏まえ、7/2 に臨時会議を開き、協議の上、分科会として区民まつりへの参加を決めました。実施内容については今後の検討になり、次回の分科会会議(8/30)で決定します。

今後のコロナ感染状況も気になるところですが、区社協・分科会メンバーで協力しながら準備していきたいと思います。　　(記：山崎)

※ＨＰは現在工事中です。
しばらくお待ちください。

横浜栄・防災ボランティアネットワークへの連絡は
下記へお願いいたします。
栄区社協：TEL 045-894-8521　FAX 045-892-8974